

京都大学医学部附属病院 病院研修生プログラム

京都大学医学部附属病院は次の研修プログラムによる病院研修生を募集します。

1. プログラムの名称
検体検査総合パッケージⅠ（尿沈渣コース）
2. 診療部名
検査部
3. 研修コース名
卒後コース
4. 研修プログラムの内容
別紙（研修日程表）のとおり
5. 受講対象者
臨床検査技師免許を有し、尿一般検査に携わっている者。
6. 募集人数
1名
7. 研修期間
1週間（5日間）
8. 研修時期
1月～3月、9月～12月。研修部門との調整が必要ですので、別途相談
9. 応募期間
任意時期に受入れ可能
10. 研修料
一人一日 2,160円（税込）
11. 申請書類
病院研修生受入れ申請書（別紙様式）
（履歴書、健康診断書及び免許証のコピーを添付）
12. 出願書類提出先・問い合わせ先
＜提出先＞
〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町5-4
京都大学医学部附属病院総合臨床教育・研修センター 宛

＜問い合わせ先＞
〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町5-4
京都大学医学部附属病院総合臨床教育・研修センター
TEL：075-751-4839
FAX：075-751-3091

研修日程表

プログラム名称：検体検査総合パッケージ 尿沈渣コース（検査部）

研修期間（1週間）	研修内容
1. 尿一般検査の自動化	全自動尿定性分析装置（Clinitek Atlas XL, SIEMENS 社製）および全自動尿中有形成分分析装置（UF-1000i, Sysmex 社製）を組み合わせた尿一般検査の運用方法（再検ロジックの構築法、精度管理の方法など）。
2. 尿沈渣研修	感染症（細菌、ウイルス）の尿沈渣、糖尿病性腎症をはじめとする腎疾患の尿沈渣、異型を疑う細胞の尿沈渣など実際症例の鏡検（症例がない場合は、保存している画像データを活用する）。
3. 尿沈渣のデータ保存	顕微鏡デジタル画像管理システム（NIS Elements, Nikon 社製および La-vietal LS, Sysmex CAN 社製）を用いた尿沈渣画像のデータ保存とデータベース化の方法。
4. 尿生化学検査	尿一般検査室に併設している尿生化学検査機器（定量項目：13項目）の運用方法。
5. 緊急時の対応方法	診療前検査としての特性に対応した尿一般検査のデータ報告法。システムダウンなどによるデータ送信の不具合が発生した場合の各分析機器の運用方法（紙ベースでの検査結果報告への切替え処置方法などについて）

担当診療科
検査部門（尿検査室） : 担当者氏名
足立 みなみ